



## Q&A

阪大薬剤部ってどんなところ？

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>Q.</b> 勤務体系はどうなっていますか？</p> <p><b>A.</b> 勤務時間：平日 8:30~17:15<br/>4週8休制で月に数回の夜勤や土日祝の日勤があります ※レジデントは2年目より夜勤を予定しています<br/>3連休以上の長期休暇は交代制での出勤があります (年1回程度)</p> | <p><b>Q.</b> 学会発表はできますか？</p> <p><b>A.</b> 積極的に学会への参加、発表をしています<br/>発表者は出張扱いで学会へ参加します</p>                     |
| <p><b>Q.</b> 育児休業は取得できますか？</p> <p><b>A.</b> 取得可能です<br/>取得後に復帰している職員も多数在籍しています</p>   | <p><b>Q.</b> チーム医療で活躍できますか？</p> <p><b>A.</b> 感染、栄養、緩和ケア、褥瘡チームなどへ参画しています<br/>患者向けの糖尿病教室、心不全教室での講師も行っています</p> |



2022



大阪大学  
公式マスコット  
「ワニ博士」



がん薬物治療管理室



調剤室（内外用）



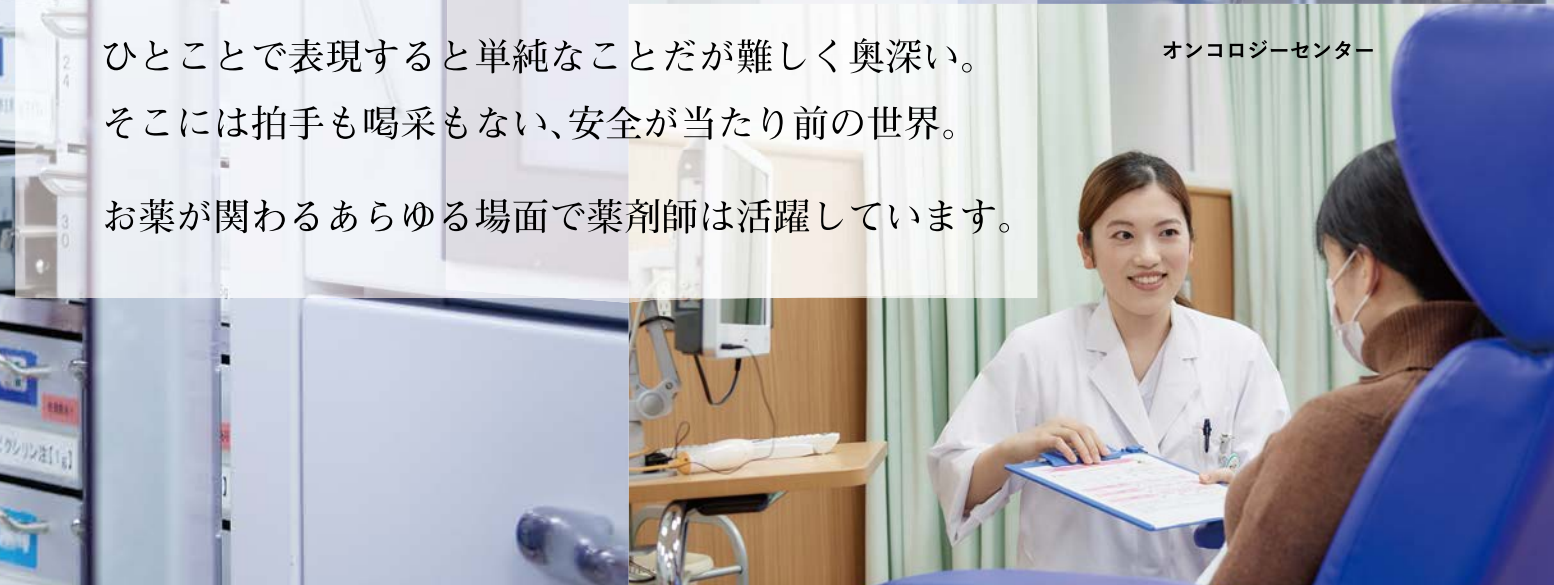
調剤室（注射）



中央手術部

## 安全な薬物治療を支える

ひとことで表現すると単純なことだが難しく奥深い。  
そこには拍手も喝采もない、安全が当たり前の世界。  
お薬に関わるあらゆる場面で薬剤師は活躍しています。



オンコロジーセンター

## 最先端医療の現場で 多様化するニーズに応える

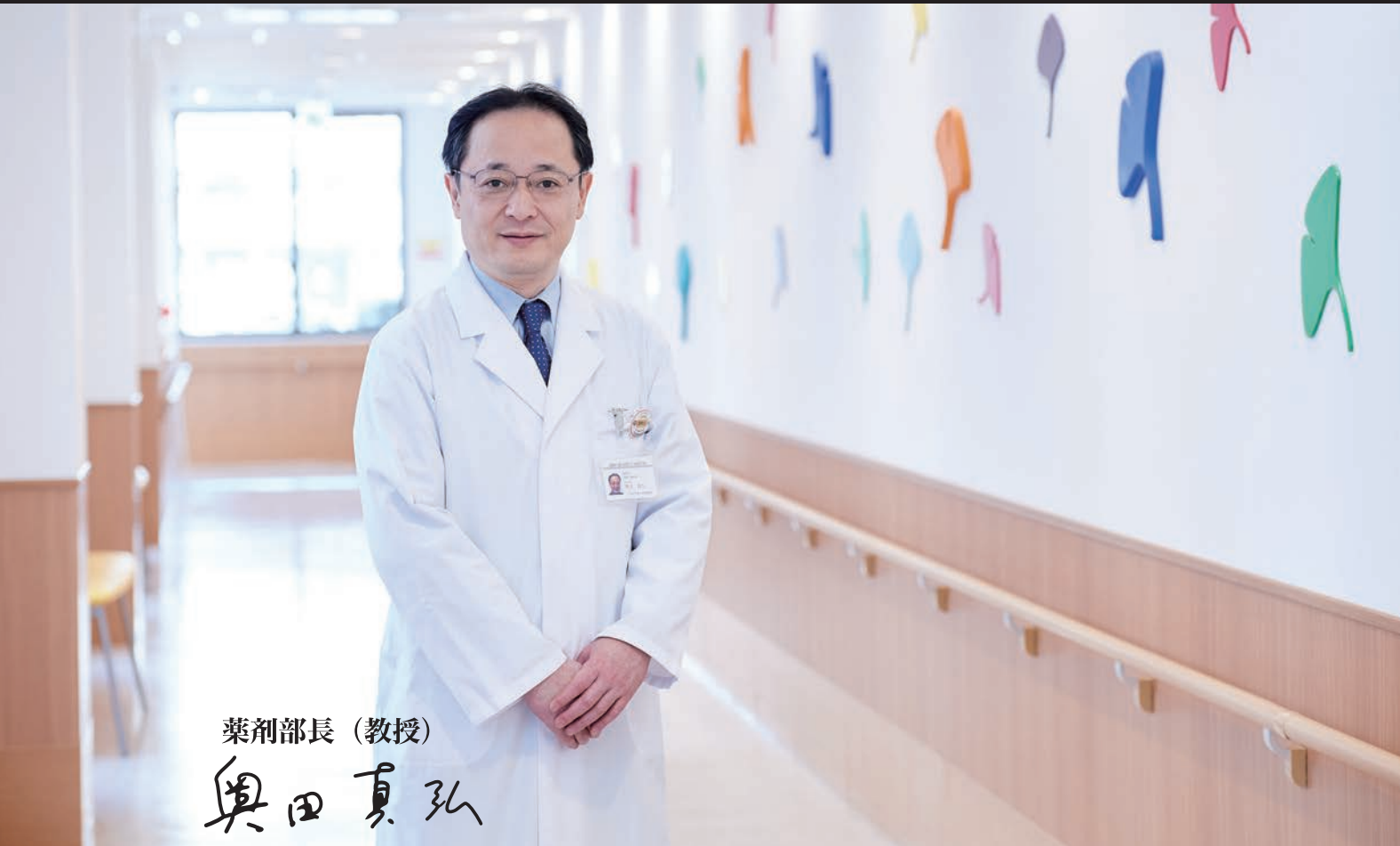
多職種で専門スキルを活かすプロフェッショナル達が協働する  
がん、NST、ICT、褥瘡、緩和ケア、創薬、治験・・・  
医療の進歩を肌で感じられる、阪大病院。

製剤室

感染制御部

集中治療室

新生児集中治療室



薬剤部長（教授）

奥田 真弘

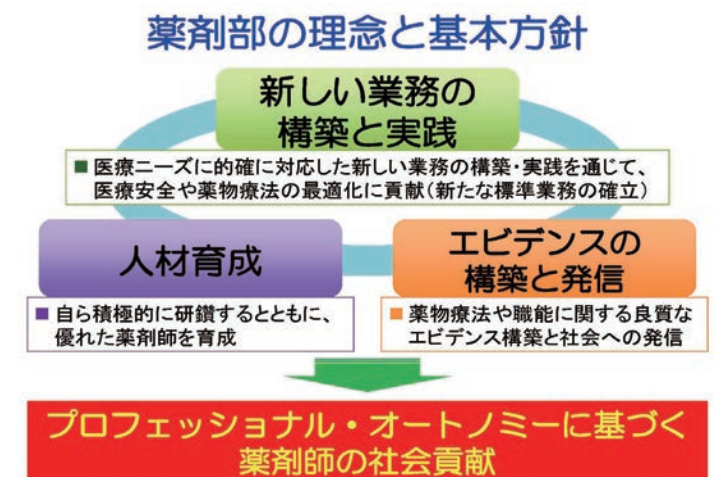
パンフレットを手にとっていただきありがとうございます。  
大阪大学医学部附属病院（以下、阪大病院）は、病床数1086床の特定機能病院であり、「高度医療の提供」「高度医療人の育成」「高度な医療技術の開発」を提供する役割を担っています。

加えて阪大病院は、厚生労働省から臨床研究中核病院やがんゲノム医療中核拠点病院に指定されており、全国の大学病院の中でも際立った役割を担っています。阪大病院薬剤部には、先進的な医療を安全に提供する役割があり、病院内のあらゆる部門に薬剤師を配置し、他職種と協働しながらチーム医療を展開しています。また昨今は、ジェネリック医薬品の使用促進やポリファーマシー対策、未承認等医薬品の使用状況の把握と安全確保等にも積極的に取り組むことで、薬剤師としての新たな役割の構築と社会への情報発信に努めています。さらに薬剤部は、地域の病院や薬局との接点において、プロトコルに基づく薬物療法の共同管理や患者情報の共有を促進することで、地域連携による切れ目のない薬物療法の提供を図っています。

教育面では、薬学生の病院実習だけでなく、医学科・保健学科の学生に対する教育や医師・看護師等に対する研修を通じて、医薬品適正使用マインドの向上を図っています。当院には100年近い歴史を有する薬剤師の初期研修制度があり、多数の修了者が近畿地区の病院をはじめとする多数の病院で活躍し、地域

の薬剤業務をリードされています。2021年度からは、研修制度を薬剤師レジデント制度に改めることで、2年間のプログラムに基づく充実した研修を、職員としての身分を持ちながら受けられるよう予定しています。

阪大病院薬剤部の理念は、「新しい業務の構築、人材育成、エビデンス構築の実践によるプロフェッショナル・オートノミーに基づく薬剤師の社会貢献」としています。薬剤師として新しい医療の構築や業務の展開に興味があり、薬剤師のさらなる向上に関心のある方からのご質問やご見学を心からお待ちしています。



# DATA 施設データ

## 病棟構成（病床数 1,086床） ※フェーズ1 病床10床を含む



	西	東
1 3階	脳神経外科、神経内科・脳卒中科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
1 2階	泌尿器科	糖尿病・内分泌・代謝内科、免疫内科
1 1階	[消化器センター]消化器外科	[消化器センター]消化器内科
1 0階	[消化器センター]消化器外科、共通	血液・腫瘍内科
9階	[ハートセンター]心臓血管外科、CVCU	[ハートセンター]循環器内科、CCU
8階	乳腺・内分泌外科、皮膚科、形成外科、心臓血管外科	神経内科・脳卒中内科、老年・高血圧内科、総合診療科
7階	眼科	[呼吸器センター]呼吸器内科、呼吸器外科
6階	[小児医療センター]小児外科	[小児医療センター]小児科
5階	整形外科	産科・婦人科
4階	集中治療部(ICU)	集中治療部(ICU)
3階	[総合周産期母子医療センター] 周産期病床、MFICU、NICU、GCU	腎臓内科、放射線診断・IVR科、放射線治療科、麻酔科
2階		糖尿病・内分泌・代謝内科、高度救命救急センターバックベッド
1階		神経科・精神科
		高度救命救急センター

## 処方箋枚数

処方箋	入院処方	218,286 枚
	外来処方（院外）	233,163 枚
	外来処方（院内）	4,634 枚
注射薬	入院患者（個人交付）	169,021 枚
	外来患者（個人交付）	32,694 枚
	その他（定数配置など）	21,939 枚

2020 年度実績

## 治験数

	治験件数	症例数
医薬品	新規	315
	継続	815
	合計	1,130

医師主導治験含む 2020 年度実績

## 研修施設認定（薬剤師関係）

日本医療薬学会	医療薬学専門薬剤師研修施設
	がん専門薬剤師研修施設
	薬物療法専門薬剤師研修施設
	地域薬学ケア専門薬剤師研修施設（基幹施設）
日本病院薬剤師会	がん薬物療法認定薬剤師研修施設
日本臨床薬理学会	日本臨床薬理学会認定薬剤師制度研修施設

2022 年 1 月現在

## 専門・認定薬剤師数

日本病院薬剤師会	がん薬物療法認定薬剤師	1 名
	感染制御専門薬剤師	1 名
	妊婦・授乳薬物療法認定薬剤師	1 名
	精神科薬物療法認定薬剤師	1 名
	日病薬認定指導薬剤師	1 名
	日病薬病院薬学認定薬剤師	18 名
日本医療薬学会	医療薬学専門薬剤師	5 名
	医療薬学指導薬剤師	4 名
	がん指導薬剤師	2 名
日本臨床薬理学会	がん専門薬剤師	1 名
	認定薬剤師	2 名
	指導薬剤師	2 名
日本緩和医療薬学会	緩和薬物療法認定薬剤師	2 名
日本化学療法学会	抗菌化学療法認定薬剤師	3 名
日本臨床栄養代謝学会	N S T 専門療法士（薬剤師）	3 名
日本医療情報学会	医療情報技師	3 名
日本糖尿病療養指導士認定機構	糖尿病療養指導士	5 名
日本アンチドーピング機構	スポーツファーマシスト	5 名
日本薬剤師研修センター	認定実務実習指導薬剤師	7 名
日本小児薬理学会	小児薬物療法認定薬剤師	1 名
日本臨床腫瘍薬学会	外来がん治療認定薬剤師	1 名
日本災害医療薬剤師学会	災害医療支援薬剤師	1 名
日本薬剤学会	日本薬剤学会認定製剤技師	2 名

2022 年 1 月現在

# Job Description

阪大薬剤部の業務内容

## 調剤・薬品管理

内服薬・外用薬・注射剤、院内の医薬品の物流まで薬品管理に関わるあらゆる業務を行います

## 実習・教育

医学部・薬学部等から多くの実習生を受け入れ、教育を行っています

## 病棟薬剤業務

医師・看護師などの他職種と連携し、入院患者さんへの服薬指導・持参薬確認、回診・カンファレンスの参加や処方提案まで幅広い業務を行います

## 製剤・治験薬製造

ISO Class 5 の無菌環境と確かな技術で様々な要求に応える院内製剤から、治験薬 GMP に則った治験薬製造も行います

## TDM

血中濃度の測定（検査部測定対象を除く）から解析まで生体薬物情報に関わる業務を行います

## レジメン監査・抗がん剤調製

安全キャビネットを利用して安全性の高い抗がん剤調製を行っています  
レジメン監査に加えて患者さんが安心してがん薬物療法を受けられるよう、お薬説明も行います

## 領域別のチーム医療

NST、ICT、褥瘡、緩和ケアなど、チームの中で薬剤師の職能を発揮します



# 2021年4月 約100年の歴史ある研修生制度は 新しく薬剤師レジデント制度としてスタート



- 大学病院の豊富なリソースを活用した充実のカリキュラム
- 最先端の医療を担う医師・薬剤師による講義研修
- 幅広い疾患領域の多様な薬物療法が経験できる

# Curriculum Image

レジデントカリキュラムイメージ

- 初期の研修では一通りの業務を広く経験します（2ヶ月コース）
- 調剤などのセントラル業務を中心に学びます（2年コース）
- 注射薬混合調製、抗がん剤調製、無菌製剤などの技術を身につけます（2年コース）
- 1年次2年次を通じた講義で理解を深めます（2ヶ月コースは基礎科目を受講）

## 1年次

就職支援

※個人によって配属の順番は異なります



- 病棟をローテートしながら、病棟薬剤業務を修得します
- 領域別のチーム医療を経験し、専門性を磨きます
- 学会の参加・発表等を経験し、薬剤師としての広い視野を身につけます

## 2年次

# Network

同門生の強固なつながり

- 研修終了者は約 2500 名！（昭和11年～）  
同門会「無名会」のネットワークは一生の財産です

- 研修生出身者は大阪府内など多数の病院で薬剤部門長を務め、  
巨大な人事ネットワークを形成しています

過去9年間（2013～2021年度）の研修修了者の就職先

—大阪府—  
愛仁会井上病院、愛仁会高槻病院、池田回生病院、大阪医科薬科大学病院、大阪警察病院、大阪国際がんセンター、大阪市立大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、大阪南医療センター、大手前病院、関西電力病院、国立循環器病研究センター、済生会泉尾病院、済生会吹田病院、済生会千里病院、堺市立総合医療センター、市立池田病院、市立吹田市民病院、市立豊中病院、市立東大阪医療センター、住友病院、東住吉森本病院、箕面市立病院、八尾市立病院、淀川キリスト教病院、りんくう総合医療センター

—兵庫県—  
愛仁会明石医療センター、関西ろうさい病院、近畿中央病院、神戸掖済会病院、神戸市立医療センター中央市民病院、神戸労災病院、市立伊丹病院、兵庫県立淡路医療センター、ベリタス病院、明和病院

—その他—  
和歌山県立医科大学附属病院、愛媛大学医学部附属病院、奈良県立医科大学附属病院、ブース記念病院



2019年度 職員旅行

# Pharmacists' Voice

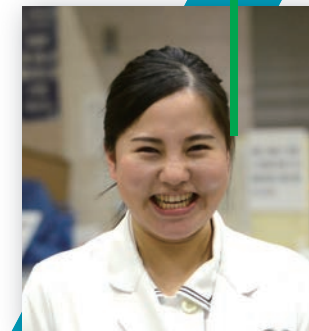
若手職員の声

## 2021 年度レジデント



調剤室 6ヶ月、製剤室 1ヶ月を経て、現在は病棟薬物治療管理室に所属しています。病棟業務では、患者さんのもとに伺い持参薬確認や服薬指導を行っています。また、来月からは、がん薬物治療管理室で3ヶ月間の業務を行う予定です。短期間のローテーションで様々な業務を修得するため大変なこともあります。病院薬剤師として必要な知識を紐付けて学ぶことができ、毎日やりがいを感じています。また、医師講義などもあり普段の業務だけでは学べないことも学ぶことができます。このレジデント制度を通して、薬剤師としての基礎となる土台を構築し、認定・専門薬剤師の資格取得を目指し今後も精進したいと思います。

## 2021 年度レジデント



レジデント制度では様々な部署をローテートし、病院薬剤師としての業務を体系的に修得することができます。私は6ヶ月間の調剤室への配属を経て、現在がん薬物治療管理室に所属しています。調剤室では多種多様な処方に触れることができ、病院の中央診療部門として薬を各部署に正確に届けるといった役割の大切さを実感いたしました。がん薬物治療管理室では抗がん薬の調製業務を修得しながらレジメンの勉強をしています。勉強したことが業務に繋がるということにやりがいを感じています。様々な分野でご活躍なさっている薬剤師の先生方から学ぶことは多くそのような先輩方の姿を見習い、主体性を持ち患者さんに貢献できる薬剤師になれるよう日々精進してまいります。

## 2021 年度レジデント



今回のレジデント制度では班分けを行い、1年間で病院薬剤師としての基本的な業務を修得できるようスケジュールが組まれています。その中で、私は先に病棟業務を行い、現在は調剤業務に従事しています。短期間に様々な業務を経験することができるため、全体の流れを把握しながら治療に対して理解を深めることができていると感じています。また、業務と並行して研究の方法についても学習しています。今現在は、働く中で触れた知識や疑問について文献調査を行い、研究課題としてどのように落とし込むかを学んでいます。2年目には改めて病棟業務に従事するため、1年目には関与できなかった業務の詳細に携わりつつ、実臨床に役立てられるような研究ができるのではないかと期待しています。

